



第185回 糖尿病教育学習研究会（トップセミナー）
第224回 IIDES糖尿病研究会
第159回 CDE兵庫県連合会研究会
—合同研究会のご案内—



日 時 : 2025年6月28日(土) 14:00~17:15
場 所 : 神戸国際会館8階802・803号室
神戸市中央区御幸通 8-1-6 TEL:078-230-3196

プログラム :

14:00~15:15 (座長: 松下 健次 医療法人社団 仁和会 神野病院 副院長、
NPO法人 国際糖尿病教育学習研究所 理事)

(14:00~14:30)

基礎講座 13. 『インスリン製剤と周辺機器』

兵庫県立淡路医療センター 糖尿病・内分泌内科 芳野 啓 先生

14:30~14:45 テルモ株式会社 一情報提供—

(14:45~15:15)

講演 1. 『糖尿病透析予防チームによる療養指導の重要性

~高カリウム血症になったらどうする? 栄養士からみたカリウムへの対応~』

医療法人社団 慈恵会 新須磨病院 栄養課 竹本 昌代 先生

15:15~17:15 (座長: 芳野 原 医療法人社団 慈恵会 新須磨病院 常任学術顧問 糖尿病センター長、
東邦大学名誉教授、NPO 法人 国際糖尿病教育学習研究所 理事長)

(15:15~16:15)

講演 2. 『循環器内科医の立場から考える 糖代謝異常と心血管リスク』

おおや内科 糖尿病・心臓クリニック 院長 大屋 秀文 先生

(16:15~17:15)

講演 3. 『高齢者を見据えたこれからの糖尿病治療』

関西労災病院 糖尿病内分泌内科 部長 山本 恒彦 先生

注) ① 会場とオンライン同時配信によりハイブリッド講演会になります。

② 会場参加者は必ずマスク着用をお願いします。また、発熱がある方は入場をお断りしますので、体温を測定してからお越しください。

(1) 参 加 費 : 2000 円

(2) 申 込 方 法 : 事務局へご氏名、ご所属、職種、ご連絡先、オンライン参加か会場参加か(オンラインの場合、必要な単位申請先)を明記の上、E-mail(パソコンからの発信可能アドレスをお知らせください)、またはFAXにてお願いいたします。

注) CDEJ更新のための認定単位が必要な方はWeb講習は対象外です。また、日病薬薬学認定制度の認定単位が必要な方は、本オンラインでは単位対応できません。会場参加でお願いいたします。

(3) 連絡事務局 : 特定非営利活動法人 国際糖尿病教育学習研究所(NPO-IIDES)

〒651-1112 神戸市北区鈴蘭台東町 7-10-16

TEL:078-591-7515 FAX:078-591-7512

E-mail: yoshino@npo-iides.or.jp

※ 日医生涯教育講座認定 CC76・3単位 申請中

※ 日本糖尿病療養指導士 認定更新のための研修会〈第2群〉1単位(オンライン参加不可)申請中

※ 日病薬薬学認定制度 V-2・2単位(オンライン参加不可)申請中

※ 糖尿病療養指導士兵庫県連合会 認定更新のための研修会 2単位

共催: 特定非営利活動法人 国際糖尿病教育学習研究所
糖尿病療養指導士兵庫県連合会
一般社団法人 兵庫県病院薬剤師会
テルモ株式会社

オンライン参加の方へ

1. オンライン参加をお申込みされた方へは、参加費振込先を申込メールアドレスにお送りいたします。
(オンライン参加費振込締切日は6月26日まで。振込手数料は各自でご負担願います。入金された参加費については、返金対応いたしませんのでご了承ください。)
 2. 入金確認後、事前登録URLを申込メールアドレスにお送りいたします。
 3. 当日オンライントラブル連絡先：テルモ株式会社 窓口 永井 (TEL:080-1005-7805)
- ※ご連絡いただく「個人情報」は本会運営の目的のみに使用させていただきます。

【認定単位の必要な方へ】(単位取得までの流れ)

- 受講確認のため、受講中に3回キーワードを発表します。必ずメモしてください。
キーワードが全部合致しない場合は、受講したものと認めませんのでご注意ください。

1. 糖尿病療養指導士兵庫県連合会認定に関して

受講後、当日中に3回のキーワード、ご氏名、認定番号、送付先住所を事務局メールアドレスにお送りください。
キーワードが合致した方のみ、参加証(単位申請用)を送付いたします。

2. 日医生涯教育講座認定に関して

受講後、当日中に3回のキーワード、ご氏名、所属医師会、医籍番号、送付先住所を事務局メールアドレスにお送りください。キーワードが合致した方のみ、受講記録表を送付いたします。

一抄録一

基礎講座 13. 『インスリン製剤と周辺機器』

芳野 啓 先生 兵庫県立淡路医療センター 糖尿病・内分泌内科

通常のインスリン分泌パターンは、持続的に分泌する基礎分泌と食後の血糖上昇に反応して分泌する追加分泌で構成されている。そのような分泌パターンを再現するために各種インスリン製剤が開発されている。インスリン投与は皮下注射で行われるが痛みをより軽減されるためにインスリン針も改良が進んでいる。またインスリンの単位数を記録するデバイスも発売され、血糖、食事そしてインスリン単位数など多くのデータを記録することで血糖変動に対して正確に評価ができるようになった。本講義ではインスリン製剤と周辺機器について解説する。

講演 1. 『糖尿病透析予防チームによる療養指導の重要性』

～高カリウム血症になったらどうする？ 栄養士からみたカリウムへの対応～

竹本 昌代 先生 医療法人社団 慈恵会 新須磨病院 栄養課

当院では2012年5月より糖尿病の合併症による腎症進展を予防し透析導入を阻止することを目的に「医師・看護師・管理栄養士」による糖尿病透析予防指導を開始。現在も活動を継続しています。左記活動の一環として当院の糖尿病透析予防チームによる療養支援の取り組みと効果について報告をさせていただきます。また、腎症3期・4期に腎症が進展した患者にみられる高カリウム血症を呈してきた対象患者へ当院で行っている高カリウム血症の栄養指導のポイントについて具体的に紹介させていただきます。

講演 2. 『循環器内科医の立場から考える 糖代謝異常と心血管リスク』

大屋 秀文 先生 おおや内科 糖尿病・心臓クリニック 院長

糖代謝異常、特に食後高血糖の心血管に及ぼす影響と、非造影 MDCT による冠動脈石灰化スコアを活用した糖尿病内科との連携によるスクリーニング体制について紹介します。

講演 3. 『高齢者を見据えたこれからの糖尿病治療』

山本 恒彦 先生 関西労災病院 糖尿病内分泌内科 部長

高齢者の糖尿病は、インスリン分泌不全やインスリン抵抗性の増大などの病態、心疾患や認知症など併発症も多様である。したがって、個々人に対応した治療をどのように選別していくかをじっくり解説していきたい。

◇会場案内図(神戸国際会館)

神戸国際会館 会議室 802・803 号室
(神戸国際会館 1F 奥の東エレベーターをご利用下さい。)

